

各市町における認知症高齢者等支援に関する取組状況

認知症初期集中支援チームについて

1. 認知症初期集中支援チームの設置時期

(1) 平成27年度までに設置済み・・・12市町

(津市、四日市市、伊勢市、桑名市、亀山市、志摩市、伊賀市、東員町、大台町、玉城町、度会町、南伊勢町)

(2) 平成28年度中に設置予定・・・9市町

(鈴鹿市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、菰野町、多気町、大紀町、御浜町、紀宝町)

※熊野市、御浜町、紀宝町は平成28年4月1日付けで設置済み

(3) 平成29年度以降に設置・・・8市町

(松阪市、名張市、尾鷲市、木曾岬町、朝日町、川越町、明和町、紀北町)

認知症地域支援推進員について

2. 認知症地域支援推進員の配置時期

(1) 平成27年度までに配置済み・・・17市町

(津市、四日市市、伊勢市、桑名市、亀山市、熊野市、志摩市、伊賀市、東員町、菰野町、大台町、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、御浜町、紀宝町)

(2) 平成28年度中に設置予定・・・3市町

(松阪市、名張市、鳥羽市)

(3) 平成29年度以降に設置・・・9市町

(鈴鹿市、尾鷲市、いなべ市、木曾岬町、朝日町、川越町、多気町、明和町、紀北町)

認知症カフェについて

3. 認知症カフェ開設状況

(1) カフェが開設されている市町・・・13市町

(津市、伊勢市、松阪市、桑名市、亀山市、熊野市、東員町、明和町、大台町、玉城町、度会町、南伊勢町、紀宝町)

(2) カフェ設置主体(全39か所)

- ・市町直営・・・1か所
- ・包括支援センター・・・17か所
- ・認知症疾患医療センター・・・2か所
- ・介護サービス施設・事業所・・・6か所
- ・社会福祉法人・・・1か所
- ・NPO法人・・・3か所
- ・その他・・・9か所(認知症の人と家族の会、ボランティア、老人クラブ、地域住民)

認知症ケアパスについて

4. 認知症ケアパス作成状況

(1)平成27年度までに作成済み・・・7市町

(四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、伊賀市、東員町、南伊勢町)

(2)平成28年度中に作成予定・・・9市町

(津市、伊勢市、鳥羽市、多気町、大台町、玉城町、度会町、大紀町、御浜町)

(3)平成29年度以降に作成予定・・・13市町

(松阪市、名張市、尾鷲市、熊野市、いなべ市、志摩市、木曾岬町、菰野町、朝日町、川越町、明和町、紀北町、紀宝町)

認知症高齢者等支援に関して、課題と感じていること

5. 認知症高齢者等支援に関して、最も課題と感じること、または最も重点的に取り組んでいること

【課題と感じること】

- ・認知症に関する予防や知識の普及がかえって「認知症にはなりたくない」という意識を強め、認知症の人や家族への偏見につながるのではないか
- ・認知症の治療が可能な医療機関の情報が不足している
- ・独居の認知症高齢者に対する理解が得られず、地域から施設入所を要望される場合がある
- ・若年性認知症の方が活躍できる場の確保
- ・徘徊の問題

【重点的に取り組んでいること】

- ・認知症初期集中支援チームによる初期段階での本人、家族支援を開始する
- ・認知症サポーター養成による地域住民への普及・啓発
- ・地域ケア会議、初期集中支援チーム員会議等を活用した多職種連携

認知症の普及啓発、早期発見・早期対応について

6. 認知症を正しく知るための啓発普及として、認知症サポーター養成講座や講演会など実施していますか？

①はい 29 ②いいえ 0 (昨年度調査 はい 29 いいえ 0)

7. 認知症サポーターが地域で活動している事例はありますか？

①はい 12 ②いいえ 17 (昨年度調査 はい 10 いいえ 19)

「①はい」と答えた市町の活動内容

- ・徘徊SOSネットワーク等の見守り活動
- ・認知症カフェ、介護予防教室等の地域での活動に協力
- ・社会福祉協議会・生活支援コーディネーターとのマッチングによりゴミ出し等のボランティアを実施
- ・「こものオレンジリングの会」を結成し、家族の集いの場への参加、普及啓発、傾聴、施設訪問等の自主活動を行っている
- ・自主活動グループ「サポーターさくら」を結成し、予防教室への参加、家族会の開催・運営、声かけ見守り訓練の実施等

8. 見守りネットワークや見守り協力店など地域の方々から、健康状態(認知症)や生活が心配な高齢者の情報が入ってくる仕組みがありますか？

- ①はい 19 ②いいえ 10 (昨年度調査 はい 19 いいえ 10)

9. 認知症高齢者等の早期発見のため、搜索機器(GPS等)の貸与等の事業を行っていますか？

- ①はい 12 ②いいえ 17

若年性認知症者の支援について

10. 若年性認知症者支援の取組はありますか？

- ①はい 4 ②いいえ 25 (昨年度調査 はい 4 いいえ 25)

「①はい」と答えた市町の支援内容

- ・若年性認知症に関する広報活動
- ・若年性認知症カフェの開催(県との共同開催)

「②いいえ」と答えた市町の理由

- ・対象者が少ないため、個別対応による支援を行っている
- ・高齢者の認知症施策への対応に追われ、若年性認知症の施策を行うマンパワーが不足している
- ・高齢者の認知症施策と合同で行っている

その他

11. 市町間で情報交換したいこと等

- ・認知症を原因とする問題のある事案が発生した際の地域を巻き込んだ地域ケア会議の開催の方法
- ・認知症サポーター、キャラバン・メイトへのフォローアップの方法
- ・認知症カフェについて(運営方法、支援方法や他市町の状況)
- ・認知症疾患医療センターと市町・包括支援センターとの連携方法
- ・認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員の活動状況
- ・認知症が原因と思われる近隣住民とのトラブルなどへの対応
- ・若年性認知症の方の把握方法と対応について
- ・見守りネットワークや見守り協力店などの仕組みと活動状況について